

議会だより

あそびやまもも



櫛淵幼稚園 最後の卒園式



動画ネット配信

3月定例会試行、
6月定例会から本格配信
いつでもインターネットで
ご覧いただけます。

小松島市議会

検索

クリック

●アドレス

<http://www.city.komatsushima.tokushima.jp/cityoffice/gikai/index.htm>



第79号 平成20年5月5日発行

新年度当初予算	P2 ~ 3
常任委員会報告	P4 ~ 5
一般質問 (10名)	P6 ~ 12
議会基本条例勉強会報告	P13
廃棄物調査特別委員会報告	P14 ~ 15
賛否表・意見書	P16 ~ 17

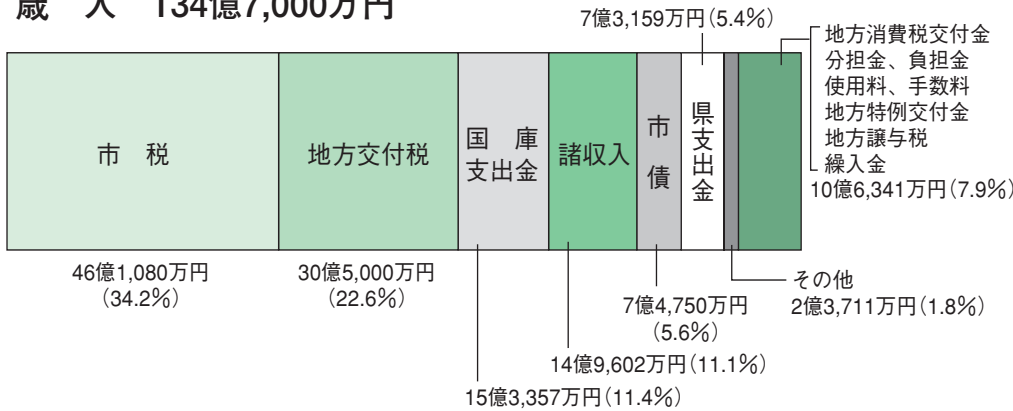
予算、決まる!

平成二十年度一般会計予算

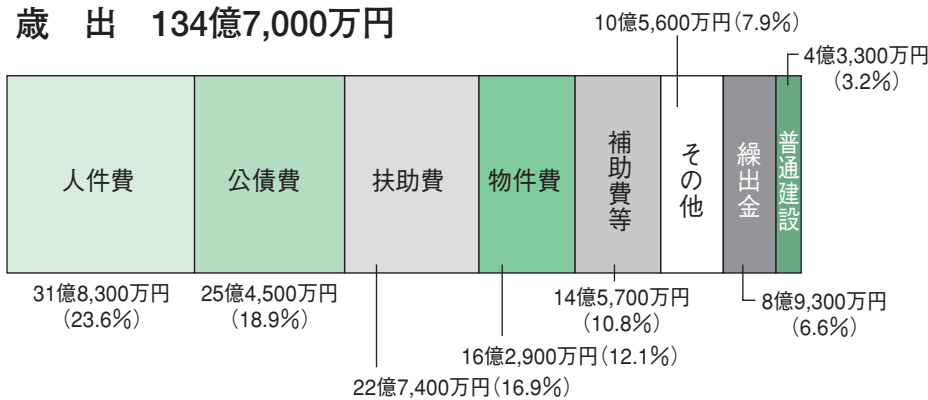
百三十四億七千万円

超緊縮型

歳入 134億7,000万円



歳出 134億7,000万円



平成十七年に財政非常事態を宣言し、平成十八年一月に行政改革「集中改革プラン」を作成した。三年連続の当初段階から赤字を見込む超緊縮予算を組まざるを得ない状況である。

職員の定員適正化計画の前倒しや給食調理業務の民間委託、保育所の民営化、幼稚園の再編等、人件費の削減に努めている。また、市税滞納の整理強化や勝浦町からの可燃ごみ処理の受託など、歳入の増加にも力を入れている。

行政改革の効果は現われてきたものの、介護保険事業への繰出金、後期高齢者医療負担金や退職手当金、及び、本年度からピークを迎える公債費の増加等で赤字がなかなか解消されない。

こうした厳しい財政状況の中であるが、次の世代を担う子供達のために、乳幼児医療助成、保育支援、中学校コンピュータ更新や小松島中学校第二号棟設計委託等の子育て支援や教育に重点をおいて予算編成がされている。

財政再生団体（赤信号）や、その手前の早期健全化団体（黄信号）に陥らないよう議会として、十分なチェックを続けていきたい。

新年度(2008)

平成20年度当初予算主な事業

千の単位四捨五入

1. 交流基盤の整備		
新 高速道路対策事務費		80 万円
市道整備		4,118 万円
2. 環境の保全・整備		
農地・水・環境保全向上対策		671 万円
合併処理浄化槽設置補助 (140 基)		3,345 万円
し尿処理一部事務組合負担金		3 億 174 万円
廃プラスチック処理、ごみ焼却施設、最終処分場業務委託		2 億 3,680 万円
ごみ焼却施設整備		9,880 万円
3. 居住環境の整備		
新 和田島公営住宅団地内道路整備		450 万円
住宅営繕 (市営住宅リホーム他)		4,149 万円
防衛施設周辺整備 (小松島航空隊基地周辺市道)		8,087 万円
雨水ポンプ場管理		1,450 万円
本港地区公園整備 (休憩施設)		2,000 万円
4. 生活安全の確保		
分団配備消防自動車購入 (第 22 分団 大場・目佐地区)		1,200 万円
5. 保健・医療の充実		
乳幼児医療助成		6,074 万円
各種予防接種委託		3,282 万円
6. 人権・福祉の充実		
障害者自立支援		4 億 2,440 万円
次世代育成支援ソフト事業		3 億 1,278 万円
老人等無料バス優待		3,900 万円
7. 社会保障の充実		
新 後期高齢者医療繰出金		1 億 1,623 万円
介護保険繰出金		5 億 6,606 万円
国民健康保険繰出金		1 億 7,664 万円
8. 生涯学習の推進		
新 小松島中学校第 2 号棟設計委託		846 万円
新 中学校教育用コンピュータ更新		2,000 万円
9. 芸術・文化・スポーツの振興		
ミリカホール関係		2,068 万円
10. 生産の振興		
漁業経営構造改善 (元根井漁港)		3,322 万円
11. 行政の推進等その他		
戸籍業務システム整備		1,952 万円

平成二十年三月定例会

常任委員会だより

総務常任委員会

米崎 孝 委員長

三年連続超緊縮予算

本委員会に付託された、議案十五件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

○平成二十年度一般会計

予算

総額百三十四億七千万円であり、対前年度比は、率にして〇・一％、額にして一千五百万円の減となる。

歳入については、市税では、市たばこ税の減収や徴収率の低下を見込み、対前年度比〇・八％減の

○水道事業会計予算
総収益七億二千二百六十六万円を計上している。繰り越し事業として、二億六千九百九十九万円で田浦浄水場の着水井・浄水池の建設工事を完成させる。



田浦浄水場の着水井・浄水池建設工事

○自動車運送事業

業会計予算

収益的収支のうち総収益では、四億九百四十七万八千円を計上し、総費用では、バス事業の運営に要する営業費用など同額を計上している。徳島駅前乗車ホーム上屋を三千百五十万円で建て替える。

○地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正

育児を行う職員の環境整備として、育児短時間勤務の制度を設ける本市の関係条例の改正。

○給与条例の一部改正

現在減額支給している期間を、市長は平成二十一年二月二日まで、副市長及び教育長の給料は、平成二十一年三月三十一日まで延長する。

職員の給与の減額についても、平成二十一年三月三十一日まで延長する。

○市長選挙におけるビラ作成の公営に関する条例

候補者の政策等を有権者が知る機会を拡充するため、候補者が選挙運動のために使用するビラを頒布することができると、ビラの作成費用の公費負担について新たに条例を制定する。

平成十九年度 一般会計補正予算

○戸籍などの相談窓口設置

高齢者や身体の不自由な方を対象に、手続を可能な限り一カ所で行えるよう市民生活課に相談窓口を設ける。

平成二十年 一般会計予算の主な事業

○小松島中学校第二号棟設計委託料
八百四十六万円

○中学校教育教材用パソコン整備事業
二千万円

○ごみ焼却施設整備事業
九千八百八十万円

○ファミリィ・サポートセンター事業の実施
百二十三万九千円

○介護施設整備事業
百二十三万九千円

文教厚生常任委員会

木村 文彦 委員長

小松島中学校第二号棟設計委託料 八百四十六万円

本委員会には、議案第一号 平成二十年度小松島市一般会計予算、同第三号 平成二十年度小松島市後期高齢者医療特別

十五議案が付託された。

改築工事は平成二十一年度～二十二年度に実施する予定。

市内三中学校の教育用コンピュータが導入から八年が経過。機能・性能ともに今の時流にそぐわず、授業にも支障をきたしていることから、更新する。

衛生センターごみ焼却場を改修する。炉内耐火物補修・燃焼装置整備、排ガス処理設備整備、分析計整備などを行う。

地域で育児を助ける相互援助活動組織である

「ファミリー・サポートセンター」事業を広域的な取り組みとして進める。

○「花しんばり保育園」の運営開始

新開保育所が一年間の引き継ぎ保育を終え、平成二十年四月一日から、「花しんばり保育園」として民間法人による運営が開始される。

○合併浄化槽設置事業

三千三百四十五万円

県補助分の補助率が引き下げられた。市民の負担増とならぬよう県の補助減額分を市単独で補てんし、補助金の上限額を堅持する。需要基数百四十基の補助を予定。

○櫛淵幼稚園の休園

平成十八年度から市内の全幼稚園で預かり保育を実施。それでもなお、少子化の影響により園児数の確保が困難であった櫛淵幼稚園は、平成二十年年度から休園することになった。

付託された十五議案



小松島中学校

すべてを原案どおり可決すべきものと決した。

「後期高齢者医療制度等に関する」請願については、採決の結果、賛成少数で不採択と決した。「市町村管理栄養士設置に関する」陳情は、採決の結果、賛成少数で不採択と決した。「原爆症認定制度の抜本的改善を求める」陳情は、もう少し精査した上で結論を出すべきとの理由で、継続審査となった。

産業建設常任委員会

井内 建治 委員長

公共下水道事業

雨水対策 八千万円（川北地区）

汚水対策 千八百七十万円（終末処理場用地）

本委員会は、今期定例会に付託された平成二十年

年度一般会計予算及び平成十九年度一般会計補正

予算、競輪事業特別会計

別会計予算、事務手数料

条例の一部を改正する条

例等六件の議案と、陳情「鳥獣被害防止特措法

に関する件」を審査した。

議案六件はいずれも原案

のとおり可決すべきものと決した。陳情については、挙手採決の結果、挙

手少数で不採択と決した。市営住宅の明け渡し

の訴えを提起したとの報告があった。

平成二十年の一般会計

予算の主な事業

○防衛施設周辺整備事業

八千八十七万円

市道和田島

○本港地区公園整備工事

二千万円

○漁業経営構造改善事業

六百七十一万円

○雨水対策

八千万円

○汚水対策

千八百七十万円

○民間建築物耐震化支援事業

二百万円

○農地・水・環境保全事業

六百七十一万円

○橋梁点検委託料

三百五十万円



元根井漁港

三千三百二十二万円

元根井地区に漁船保全修理施設（船揚げ場）を整備する。

農業者だけでなく地域住民も含めて農業施設（農道、ため池など）の保全管理を行うため、市内六つの活動組織が設立され、事業に取り組んでいる。

市管理の橋を点検する。不備があれば、修繕を施工する。

浸水対策下水道整備として、徳島赤十字病院跡地から上流部の約百メートルの区間において、雨水幹線工事を進める。

水質保全下水道整備として、終末処理場の用地取得を進める。

市営住宅（大林団地）の使用料を滞納している入居者一名に対し、建物明け渡し等の訴えを提起するもの。

延命化を図る。

民間建築物耐震化支援事業 二百万円

予想される南海地震がおきた際、倒壊家屋により、救援活動に支障が出るおそれがある。事前に住宅密集地での耐震改修を促進する。

平成二十年の公共下水道事業会計の主な事業

雨水対策 八千万円

浸水対策下水道整備として、徳島赤十字病院跡地から上流部の約百メートルの区間において、雨水幹線工事を進める。

汚水対策 千八百七十万円

水質保全下水道整備として、終末処理場の用地取得を進める。

報告

訴訟の提起について